

## 練習問題 8 (45 度線分析)

## 問題 1

消費関数が  $C=0.8Y+500$ ,  $I=1000$  [C:消費, Y:国民所得, I:投資] で示されるとき, 投資を 200 増加させた場合, 均衡国民所得は次のうちどれか。ただし, 政府部門および海外との取引はないものとする。

- 1 8000
- 2 8500
- 3 9000
- 4 9500
- 5 10000

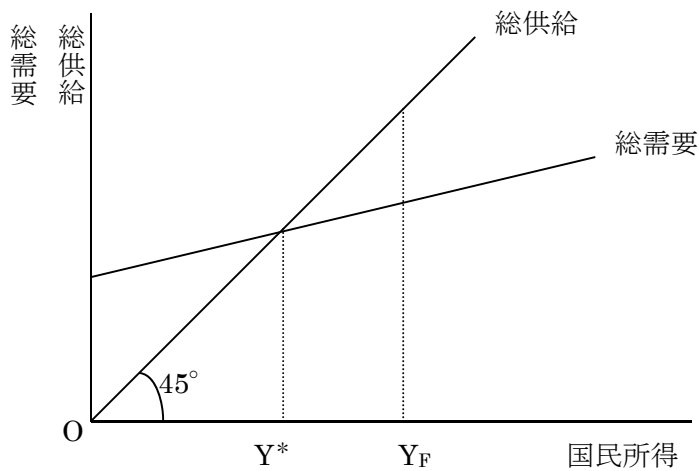
【地方上級・平成 8 年度】

## 問題 2

図は国民所得と総供給、総需要の関係を表したものである。ここで  $Y^*$  は均衡国民所得、 $Y_F$  は完全雇用国民所得であり、 $Y_F$  は 500 兆円である。また、投資を 100 兆円とし、消費関数を  $C=0.5Y+50$  (単位：兆円) とする。

このとき、 $Y_F$  に関する次の記述のうち、妥当なものはどれか。ただし、政府部門は考慮せず、総需要は消費と投資からなるものとする。

【国家二種・平成 10 年度】



1.  $Y_F$  においては、インフレ・ギャップが生じており、その金額は 200 兆円である。
2.  $Y_F$  においては、デフレ・ギャップが生じており、その金額は 200 兆円である。
3.  $Y_F$  においては、インフレ・ギャップが生じており、その金額は 100 兆円である。
4.  $Y_F$  においては、デフレ・ギャップが生じており、その金額は 100 兆円である。
5.  $Y_F$  においては、インフレ・ギャップもデフレ・ギャップも生じていない。

## 問題 3

国際収支を考えない以下の閉鎖経済を想定する。

$$\begin{array}{l} Y=C+I \\ C=cY+40 \\ c=0.7 \\ I=20 \\ Y_F=200 \end{array} \quad \left( \begin{array}{l} Y : \text{GDP} \\ C : \text{消費} \\ c : \text{限界消費性向} \\ I : \text{投資 (国民+政府)} \\ Y_F : \text{完全雇用 GDP} \end{array} \right)$$

当該経済において、なんらかの要因により完全雇用 GDP が 50 増大し、限界消費性向は 0.8 となった。このとき、完全雇用を維持しつつ、インフレの発生を抑制するために、政府のとるべき政策として、妥当なものはどれか。

1. インフレ・ギャップ 50 を解消するために、政府投資を 50 減少させる。
2. インフレ・ギャップ 10 を解消するために、政府投資を 10 減少させる。
3. デフレ・ギャップ 50 を解消するために、政府投資を 50 増加させる。
4. デフレ・ギャップ 10 を解消するために、政府投資を 10 増加させる。
5. 完全雇用 GDP が達成されているので、政府投資を変化させない。